

ポートピア見聞録

柳原良平（イラストレーター）

良平さんの
ポートピア'81
漫画探険



この神戸ポートピア'81のパビリオンの一つサントリーワォーターランドの名譽館長を私はつとめている。のべつウォーターランドにいるわけではなくて、時々名譽館長の出番のあるイベントが行われるような折りに住んでいる横浜からやつて來るのである。それでも一ヶ月に二、三度の時もあるだろうか。來る度に時間を見つけて他のパビリオンをのぞき、すでにポートピアの殆んどを探訪し終えた。そこでポートピア見どころのご案内を試みる。自己宣伝の気持ちはさらさらないが公正な眼を通してもサントリーウォーターランドは一見の価値があるのではないだろうか。ベストスリーとして「ウォーターランド」と「神戸館」と「グリーンエアドーム」（芙蓉館）を挙げる。多少の偏見はお許し願いたい、そうでなければ素人意見の大勢に押し流されてしまうので。

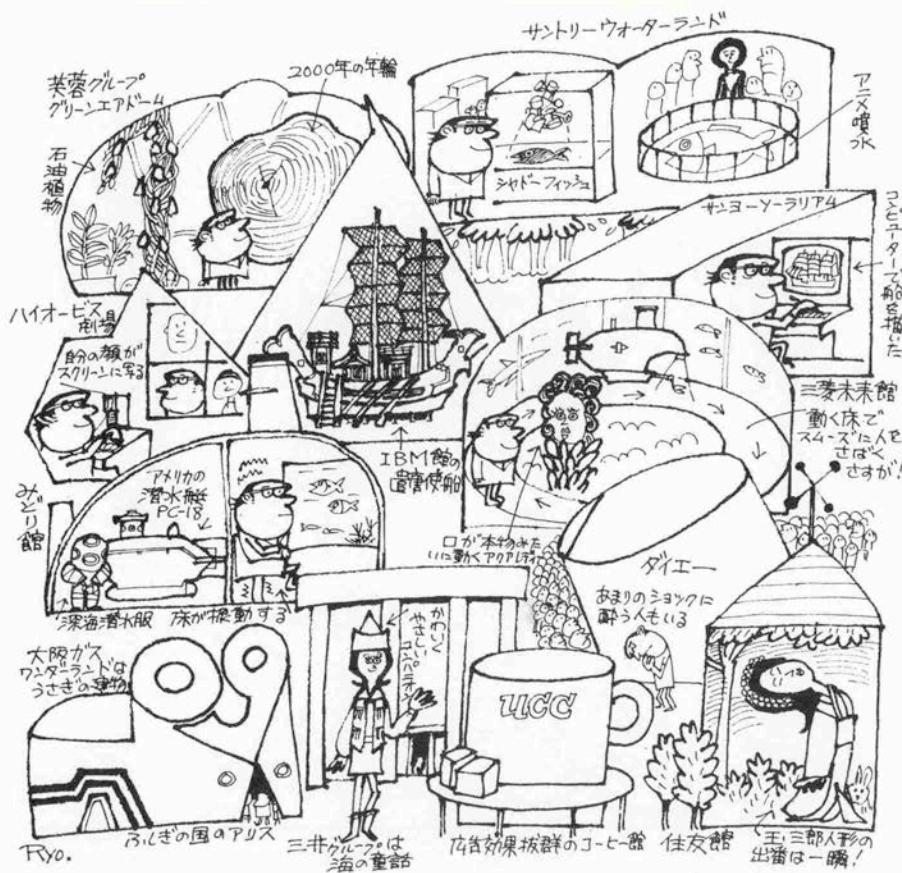
「ウォーターランド」は音楽と映像と水がシンクロナ化したアニメ噴水が目玉商品だが私はそれよりも福田良平さん（イラストレーター）の「ポートピア'81」漫画探険

繁雄作の「シャドーフィッシュ」をピカ一に推す。カクテルグラスやバースブーンなどの器具をくっつけて、ライトを投げると影がなんと不思議サカナになる。こんな面白い展示物は他にない。

それと、ウォーターランド内に流れる富田勲作曲のシンセサイザーの音楽がいい。今回の博覧会、意外に各パビリオン音響効果がバツとしない。映像はやたら目まぐるしく驚かすだけ、その中でウォーターランドの音楽はすばらしい。

四時間並んでやつと見たと感激する見物客が多い、ダイエーの「オムニマックス・シアター」はたしかにポートピア随一の話題を呼んでいる。しかし、シネラマ以来、70ミリだの飛びだす映画だと歩んできた驚かし映画の最近版にすぎないので、シーンはきまつて砂漠やアルプス越えである。長い間並ぶといいものを見たと錯覚する人が多いのに驚く。

映像で一番面白いのは「神戸館」のトライビュジョンである。画面の人物が突然ステージに飛び出し、画面の人とボール投げをする。今までの映像にない企てであり、内容もいくらかおどけて、ラストはちゃんと神戸市民の美しさを見せる、いい作品だった。



観客がスイッチを押して映像の進みを変えていくとい

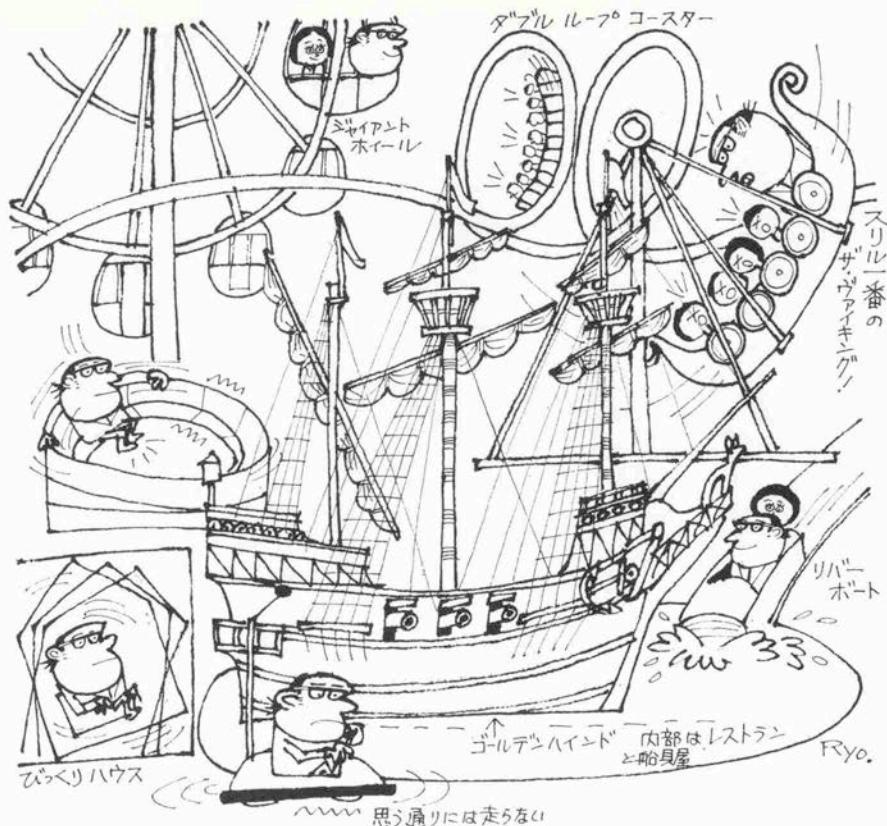
う観客参加のパビリオンが二つある。「テーマ館」の「ハイオービス劇場」と大阪ガスの「ワンドーランド」。面白い試みであるが、「ハイオービス劇場」の場合観客の質問に対する反応は面白いものの結果を示す映像が安易でつまらなかつたし、「ワンドーランド」の方は観客が左から右に一応決めても結局はどこかで元の一本道につながる

らなかつた。「ワンダーランド」は映像よりその前の展示の方がたのしかつたなあ。

映像のパビリオンは他にもいくつかあるが似かよつた内容のがある。例えば「みどり館」と「三菱未来館」。「神鋼ポートラマ」と「ダイエー」「川鉄地球館」と「神戸プラネタリウム」など。これらはどちらか一つ見ればいいのじやないかしら。

玉三郎の人形で人気の「住友館」この手の人形劇はストーリー、リズム感ともとてもディズニーランドに及ばない。私は失望した。

あまり行列しなくて見
られる割りに個性的な
が「UCCコーヒー館」
「IBM遣唐使館」「ファ
ッションライブ・シアタ
ー」いずれももう一つ何
か欲しい感じではあるが



たのしい。

それにひきかえ何となくつかみ所のないのがお金をかけた割りにもの足らない「三井グループ館」、ビーチアーバン姿のかわいいコンパニオンがかわいそう。それに「ミナミガラテ館」、風が吹くと下半身がびしょ濡れになる水のトンネルのある「ハートピア」など。

ノロとしてリズム感に欠ける。仕方ないゆっくりと港をながめることにする。世界一の扱量を誇る神戸港のコンテナ埠頭は、あるいはボートピアにまさる神戸市が見せたい最大の展示物ではないだろうか。

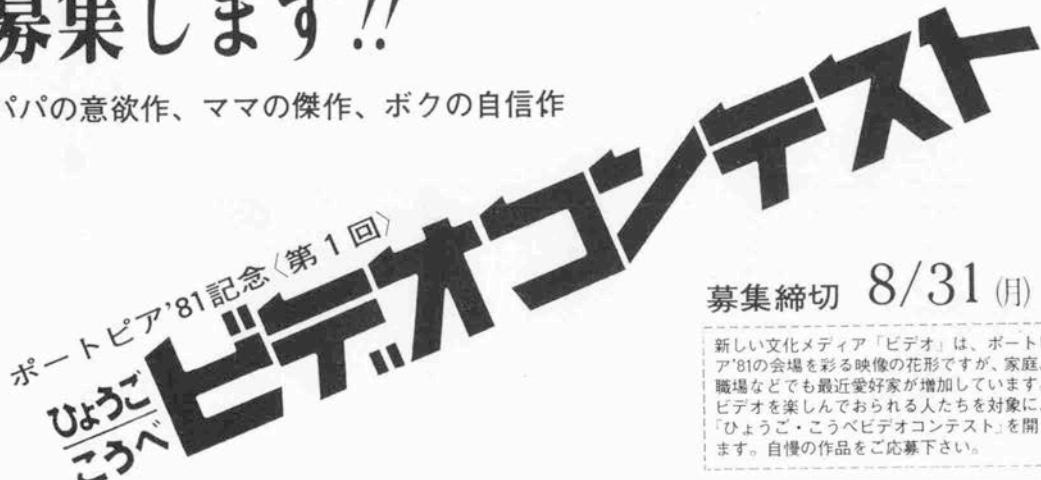
帰りは神戸ご自慢の新交通ポートライナーでとことなるが、なぜかこの最新の乗り物ノロ

で、バビリオンはこの辺であとは省略。パンダはいつ見てもかわいい。そして私の大好きな遊園地へ。刺戟的な乗り物はみんな乗った。その結果ナンバーワンは「ヴァイキング船」。九〇度近くからの逆落しひは瞬無重力を意識させ、無意識にアツとすぎるコースターより怖ろしい。スリルは苦手の方は地上64メートルから会場を一眺できるジアイアント・ホイールをお推薦する。会場内の食べ物は特筆するものはなし。むしろポートピアホテルへ寄つて30階のカクテルラウンジで神戸港の全景を見ながらローストビーフでも食べるがたのしい。

限られた原稿枚数なので、バビリオンはこの辺であとは省略。パンダはいつ見てもかわいい。そして私の大好きな遊園地へ。刺戟的な乗り物はみんな乗った。その結果ナンバーワンは「ヴァイキング船」。九〇度近くからの逆落しひは瞬無重力を意識させ、無意識にアツとすぎるコースターより怖ろしい。スリルは苦手の方は地上64メートルから会場を一眺できるジアイアント・ホイールをお推薦する。会場内の食べ物は特筆するものはなし。むしろポートピアホテルへ寄つて30階のカクテルラウンジで神戸港の全景を見ながらローストビーフでも食べるがたのしい。

募集します!!

パパの意欲作、ママの傑作、ボクの自信作



募集締切 8/31 (月)

新しい文化メディア「ビデオ」は、ポートピア'81の会場を彩る映像の花形ですが、家庭、職場などでも最近愛好家が増加しています。ビデオを楽しんでおられる人たちを対象に、「ひょうご・こうべビデオコンテスト」を開きます。自慢の作品をご応募下さい。

応募要項

●応募資格／プロ、アマ、年令、性別を問いません。●応募作品／20分程度のビデオ作品／テーマは限定しません／入賞作品については返却いたしません（ただし希望者には実費にてダビングいたします）／入賞作品については「神戸ビデオコンテスト実行委員会」が複製、上映、頒布（放送、有線放送）できるものとします。

●入選発表／1981年9月上旬予定
グランプリ1（賞金30万円）
優秀賞4（賞金10万円）
兵庫県知事賞、神戸市長賞
ポートピア'81賞、星電社賞

入賞5（賞金5万円）

●受付／神戸ビデオコンテスト実行委員会
(078) 811-1131
神戸新聞社文化事業局／(078) 221-4121
星電社三宮本店／(078) 391-8171
星電社姫路本店／(0792) 88-1717
星電社各店

大 会 会 長／後藤博雅 運営委員長／小松左京
審査委員長／浦山桐郎
審査委員／小林はくどう 福野輝郎 今井祝雄
今崎陽吉 西内 隆 立石雄三

主催/神戸ビデオコンテスト実行委員会・神戸新聞社

後援／兵庫県・神戸市・兵庫県教育委員会・神戸市教育委員会・神戸ポートアイランド博覧会協会・サンテレビジョン他
協力／映像表現委員会・関西学生映画連盟・兵庫県高等学校教育研究会視聴覚部会・星電社ビデオセンター
協賛／三洋・シャープ・ソニー・T.D.K・東芝・ナショナル・ピクター・日立・マクセル・三菱

大会事務局／星電社 〒658 神戸市東灘区住吉宮町7丁目6-18 星電社ビデオセンター内 (078) 811-1131

未来空間を体験する祭典

ポートピア'81

特報 神戸博のポイントガイド



海援隊もゲストとして登場

今年初めから公募されていた「心の祭典参加のうた」には、354篇の応募があり、12曲の入賞曲と作詞賞2篇(後竹葉子「あなたは何を」、飯塚博子「涙と詩と星達」と)、作曲賞1篇(土井淳「ともだち」)が決定、最終選考でさらに塚本直子作詞坂江美喜作曲の「心

ポートピア'81
催し物

心の祭典コンサート

8月24日

国際広場

国際障害者年の記念事業としてこうべ市民福祉振興協会が主催して行なうのがこのコンサートだ。歌を通じて人と人との心が通い合う町づくりを、障害者も健常者も分け合ってなく共に生きる社会をめざそようと、障害者やボランティアが加わった企画委員会で昨年8月から準備を重ねてきた。



★会期: 3月20日~9月15日

開場午前9時30分・閉場午後9時30分

★入場料: 大人2,000円、高校生1,200円
中・小学生1,000円、幼児400円
(午後4時半以降は夜間割引あり)



ゴダイゴ

8月26日 国際広場

T D K コンサート

昨年、天津で日中友好音楽祭に出演して好評を博したゴダイゴがその第二弾として、ポートピア'81で中国の人気歌手と一緒にジヨント。ポートピアのテーマソングを担当するインター・ナショナルな感覚のゴダイゴに対しても中国からの参加は

「つなごう」が最優秀曲に、吳恵心作詞・平沢史朗作曲の「紙ヒコーキ」、鎌田みゆき作詞・作曲の「七夕」、佐々木文良作詞・勝田明憲「ふれあい私の夢」、首藤博史作詞・作曲の「マンドリンガール」、土田啓悟作詞・光平きょう子作曲の「ねがい」が優秀曲に選ばれた。演奏は、いずれもアマチュアグループで、今回の参加曲の製作にタッチした人たちやボランティアによつて入賞曲が歌いあげられる。ゲストには海援隊も登場、当日は多数の障害者の人たちが招待される。



初来日が期待される 関牧村

若手No.1の関牧村の予定。日本でも4月に王金時作詞・ゴダイゴの「愛のつばさ」がレコード化され注目を集めている。

音楽を通して結ばれた日中の友情の競宴である。

*'82ミス・インターナショナル、ミス・ワールド

日本代表選出大会

9月4日 国際広場（午後6時開演予定）

ミス・インターナ

ショナルは一九六一

年にアメリカのロン

グビーチでスタート

して今年で21回目、

一九六八年の万国博

から毎年(社)国際文

化協会が主催して日

本で世界大会を開催

している。ミス・ワ

ールドは一九五一年

よりロンドンで発足、

世界で最も歴史のあるコンテスト

で、一九五六年より日本代表を派遣している。全国より

35名の代表が参加、いずれも、世界親善の美の使節とし

て活躍する健康で知的な美女が選ばれる。

*'81ミス・インターナショナル世界大会

9月5日（前夜祭）、9月6日（本大会）

国際広場（午後6時開催予定）

世界各国を代表する選りすぐりの美女たちが一堂に揃

つて美を競う様は壯觀である。審査のポイントは容姿の

面だけでなく、世界で通用する知性も要求される。日本代表は岡山市の森脇美香さんで、身長169cm、体重55kg、バスト88cm、ウエスト62cm、ヒップ89cmと磨きのかかつたプロポーション。近年、世界の女性に伍しても引けを

取らなくなつた日本女性の活躍を大いに期待したいところである。本年は46カ国から代表が参加する予定。さて、OSK日本歌劇団が贈る大レビュー・ショー。三部構成で、第一部がパリアンドラテン、第二部が日本のふるさと、第三部がジャズアンドディスコ、とバラエティに富んだ内容で、シャンソンやラテン、日本の民謡、ディスコサウンドなどにのってスケールの大きな唄と踊りを展開する。出演は、南幸子、南月梨佐、長谷川恵子、近衛美樹、八坂みどり、湯川みちよ、摩耶かほり、嵯峨みさ緒ら団員50名。明るい夢と希望と愛を織り込んだ歌と踊りのページェントだ。一糸乱れぬOSKの名物ライティングス、オリジナル曲「ボートピア音頭」でハッピ姿の澆漱さも披露され、華やかなコスチュームに若さ溢れる集団の美が楽しい。



昨年の大会で選出された日本代表

ザOSKショー

8月29日～9月1日 国際広場

取らなくなつた日本女性の活躍を大いに期待したいところである。本年は46カ国から代表が参加する予定。さて、OSK日本歌劇団が贈る大レビュー・ショー。三部構成で、第一部がパリアンドラテン、第二部が日本のふるさと、第三部がジャズアンドディスコ、とバラエティに富んだ内容で、シャンソンやラテン、日本の民謡、ディスコサウンドなどにのってスケールの大きな唄と踊りを展開する。出演は、南幸子、南月梨佐、長谷川恵子、近衛美樹、八坂みどり、湯川みちよ、摩耶かほり、嵯峨みさ緒ら団員50名。明るい夢と希望と愛を織り込んだ歌と踊りのページェントだ。一糸乱れぬOSKの名物ライティングス、オリジナル曲「ボートピア音頭」でハッピ姿の澆漱さも披露され、華やかなコスチュームに若さ溢れる集団の美が楽しい。



ミュージカル・パレード

9月2日 国際広場

近畿管区（兵庫、大阪、京都、和歌山、奈良、滋賀）の各警察音楽隊のドリルパレード等、おまわりさんたちによる楽しい吹奏楽の祭典。

ブルガリア 9月9日
外国人招へい催し物

ブルガリアはヨーロッパ大陸の南東、バルカン半島の南東部にあり、面積約11万平米、人口881万。首都はソフィア、国土の30%弱が森林で、温暖な気候とあわせて多くの観光客を集めます。独特的民族舞踊が披露される。

戦後、日本の復興と繁栄に大きな足跡を残した三洋電機株式会社の創設者、故井植敬男氏の遺志によって昭和四十四年十一月に設立された財團法人「井植記念会」が、兵庫県在住または兵庫県にゆかりの深い人のなかから、めざましい活躍をされた人を受賞の対象としてその功績を讃えるとともに、地域社会のより一層の発展に寄与したいと考え、この「井植文化賞」五部門を設定しました。今回で第5回を数え、各分野の評論家、学識経験者などをもって部門ごとに構成される選考委員会によって次のように決定しました。

● 第5回

井植文化賞

文化芸術部門



多田智満子
〈詩人〉

社会福祉部門



富永繁男
（芦屋市教育委員会
学校教育課指導主事）

地域活動部門



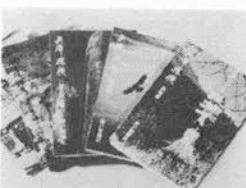
尻池南部地区
自治連合協議会
代表・毛利芳藏

科学技術部門



沢村誠志
（リハビリセンター長
同付属中央病院長）

報道出版部門

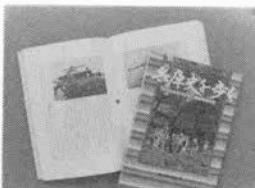


神戸新聞社
「兵庫探検」取材班

昭和5年博多生まれ。慶應義塾大学文学部卒業。56年詩集「蓮喰いびと」（書肆林檎屋刊）にて第5回現代詩女流賞（文化出版社主催）受賞。「多田智満子詩集」（思潮社刊）をはじめ、詩集、歌集、エッセイ、翻訳に多数著作がある。

昭和5年生まれ。30年神戸医科大学卒業。33～43年米国カリフォルニア大学留学。35年神戸大学で医学博士号。44年10月兵庫県玉津福祉センター開所と同時に同センター勤務。45年身障者厚生相談所も兼務。48年リハビリテーションセンターライター長に就任。

昭和45年にスタートした神戸新聞の連載企画。民俗、自然、歴史風土、統治歴史風土近・現代、総集編六編からなり、地上重光をデスクとした取材班が現場主義に徹して足掛け12年を要した大作で、全六巻の「全集」として残している。



NHK神戸放送局
「兵庫史を歩く」

昭和6年長崎生まれ。長崎大学学芸学部卒業。兵庫県の公立中学校の教員（音楽）になり、昭和42年から肢体不自由児特殊学校昭和49年から知恵遅れ学級を受けもつ。みどり学級を「住宅つき生涯学級」にしようという構想を実現し、現在、同学級教師。

明治42年生まれ。兵庫県立工業学校電気科専修科中退。昭和41年尻池南部地区自治連合協議会の住民大会を開催。以後千七百世帯の住民のため数々の地域活動に励む。県知事賞、市住民活動賞、市民福祉功労賞などを受賞。よしくら運送自営。

「埋もれた歴史の道を歩き、ふるさとの史跡と自然の美しさを探る」、というテレビ番組で、昭和49年秋スタート。第一回は作家の杜山悠氏を講師に上郡町を歩き、56年2月に第40回を迎えた。その記録は放送だけでなく、一冊の本になって出版された。

この文章を私が書いている頃、多田智満子は、ギリシャはアテナイの町のどこかを歩きまわっているか、さもなければそこから神戸は六甲山麓の我が家によく帰りついて、ヘラスの国の印象をひそかに反芻しているか、そのどちらかであるはずだ。

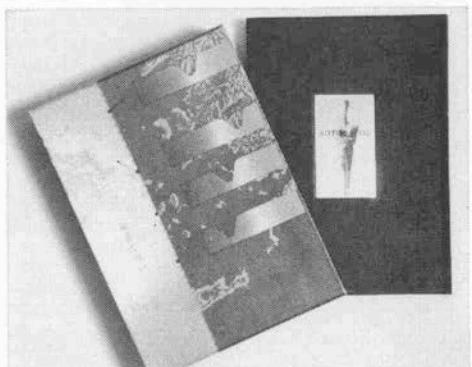
彼女の行動は、いつの頃からかとみに機敏であって、近辺の古い寺をせっせと歩きまわっていたかと思うと、去年だか一昨年だかにはエジプトに出かけ、そこから帰ると京都に古代語の勉強に通い、今度は短期間ながらギリシャに飛んだ。近頃流行の観光旅行などとはもとより趣を異にして、その知的好奇心たるや、まことに畏敬に値する。

△小島輝正▽

第5回井植文化賞文化芸術部門 多彩な才能が花開く 多田智満子

選考委員

足立一正（神戸大学教授）
小島輝京子（作家）



最新詩集「蓮喰いびと」

●受賞者著書目録

△詩集▽

1956 / 花火 ユリイカ刊

1960 / 鏡技場 ユリイカ刊

1964 / 薔薇宇宙 昭森社刊

1968 / 鏡の町あるいは眼の森 昭森社刊

1971 / 膾の年代記 山梨シルクセントー出版部刊

1972 / 多田智満子詩集 思潮社現代詩文庫

1980 / 蓼喰いびと

書肆林檎屋刊
△歌集▽
1977 / 鏡のテオーリア
大和書房刊
1977 / 古寺の甍
河出書房新社刊
△翻訳▽
1963 / ユルスナール「ハドリ
アヌス帝の回想」
1966 / サン=ジョン・ベルヌ
詩集 思潮社刊
1970 / シャルボニエ「レヴィ
・ストロースとの対話」
1977 / ボスコ「ズボンをはい
たロバ」 晶文社刊
1977 / A・アルトー「ヘリオ
ガバルス」 白水社刊
1980 / ユルスナール「東方綺
談」 白水社刊
1981 / ケッセル ライオン 日本ブリタニカ刊

●選考経過

工学部 農学部の各学部長ということもあって、過去四回の受賞者はそれぞれの分野における功績者を△順番に▽選んできたが、今回選考の席でまず喚起されたことは各分野がお互いに開か合うことが多くなった（例えば医学・農学における工学的技術・知識の必要性）ということである。

運動療法室にて



第5回井植文化賞科学技術部門 障害者の社会復帰に尽力 沢村誠志

選考委員会
三〈神戸大学医学部長〉
寛〈神戸大学工学部長〉
一〈神戸大学農学部長〉
正志〈神戸新聞社論説委員長〉

井羅本
西松真鍋

沢村誠志博士は昭和三十年に神戸医科大学を卒業された後、直ちに同大学整形外科学教室に入局され、二年間に亘る米国留学を含めて、主に切断義肢の研究に従事されて来られました。同時に氏は、切断患者、さらに広く身体障害者の社会復帰のために不可欠なりハビリテーションの重要性を強く認識され、氏の優れた整形外科専門医としての力量と、温厚誠実な人格に加え、卓越した指導力から多くの医師、パラメディカルの協力と支持によりハビリテーションに対する認識を不動のものとされました。

そしてこれら個々の症例の分析結果から、義肢、装具の開発改良のみではなく、それぞれに適した機能訓練、職業指導の立案実施に勉められ、身体障害者の社会復帰の途を科学的データに基づいて改善してこられたもので、その業績は高く評価されるべきものと考えております。

△岩井誠三▽

氏の取り組んでこられた研究は極めて地味ですが、実践的なものであり、とくに最近では電子工学科の取り組んでこられた研究は

工学部 農学部の各学部長ということもあって、過去四回の受賞者はそれぞれの分野における功績者を△順番に▽選んできたが、今回選考の席でまず喚起されたことは各分野がお互いに開か合うことが多くなった（例えば医学・農学における工学的技術・知識の必要性）ということである。

医学関係では玉津のリハビリテーション長沢村誠志、工学関係ではシステム工学・情報工学・医工学のめざましい技術推進が、また農学分野からは酒米の研究をしている灘酒研究所が地域性を持つユニークな仕事ということで候補にあがつた。いずれも単に科学であり技術であるというだけでなく有機的要素のある仕事をしている人

（団体）だということが今回の特徴といえるようだ。たとえ文明がどんなに進歩していくとしても手術をコンピューターだけに任せてしまふなどということは決してないだろうという話題も出されながら、科学が最終的に「一人間の役に立つ」ものでなければならないという観点に基づいて、兵庫県リハビリテーションセンター長・同附属中央病院長でありました県の身体障害者更生相談所長の沢村誠志が今回の受賞者に決まった。

第5回井植文化賞社会福祉部門

地域に密着したみどり学級 富永繁男

選考委員

伊藤 隆二（神戸大学教育学部教授）
服部 正正（大阪社会事業短期大学長）
清水 清郎（神戸新聞社社会部長）



感覚訓練室で訓練指導する富永繁男

●選考経過

昭和42年に芦屋市立精道小学校内に呱々の声をあげた「みどり学級」（肢体不自由児学級）は、14年たった今年、「住宅つき生涯学級」に発展し、2歳から31歳にいたる多数の障害児者のオアシスとして活用されている。この全国的にしてもユニークな学級づくりに、文字通り、半生を捧げられたのがヒューマニスト富永繁男氏である。

同氏は昭和39年に障害児教育に着手され、以来、これまでの17年間、この道一筋に歩んでこられたのであるが、その信念はみかけはどんなく重い障害をもっている子どもであろうとも、その子どもなりに、必ず伸びる芽は宿しているのであり、それを探り当て、花を咲かせるのが教師の務めだという点にあ

る。これまで芦屋市の王将位を獲得した障害児、足に筆をくくりつけて絵を描く障害児、寝起きで短歌をつくる障害児らがこの学級から誕生しているのも、富永氏のこの信念が実ったものと高く評価することができます。

その他、昨年、15周年を迎えた「お誕生日ありがとう運動」（藤本隆代表）や、自らも足が不自由で頑張っている西宮市の「福祉ビューロー」の片岡実、今年60周年を迎えて1000万円を寄付した灘神戸生協などの活躍や、過去4回の受賞者が励みを得て、より積極的に活動していることなども話題にあげられた。

結果、今年は国際障害者年であり、タイムリーだということで、障害児教育に取り組んできた、「みどり学級」の富永繁男に、選考委員全員一致で決定した。

まず、候補にあがったのは、前回も名前が出ていたが、15年前からの念願がない、今年4月に芦屋浜のシーサイドタウンの中に0歳から成人までの肢体不自由児・者のための「芦屋市立みどり学級」を独立させた富永繁男（芦屋市教育委員会学校教育課指導主事）。彼は、シーサイドタウン内に身体障害児をもつた家庭向けの住宅を何戸か確保し、「エレベーターの中のつきあい」から、隣近所の人たちとの接点を持ち、そこから協力体制が生まれ、自然に障害者に対する理解が地域の人の間に広がっていくんじゃないいかという「住宅つき生涯学級」の構想を実現させるべく力を注いできた。

● 選考経過

第5回井植文化賞地域活動部門

先駆性と実績の貫禄 尻池南部地区自治連合協議会

選考委員
 一谷定之(園田学園理事長)
 今井仙三(丸山地区文化防犯協議会会長)
 長島晴雄(新聞社主筆)



緑花運動によって完成した尻池街園での桜まつり(56.4)

● 第5回目の賞に当たり、今回より選考委員に加わっていただいた長島氏より、「地域活動というからには、今までに今井仙三氏の丸山地区や毛利芳藏氏の苅藻地区など横綱格のものが受賞していないことに疑問を感じる。この賞が権威あるものであるならば、もう一度考え方としてはどうか」という賞に対する基本的な考え方の検討案が出た。両者は全国水準を飛び抜けた先駆性と数多くの業績がある。毎回候補にあげられる「明舞団地のスポーツ協会」や「大屋町の町づくり」も話題になった。

尻池南部地区自治連合協議会は昭和三十一年六月二日に設立された。この地区は、ゴム、金属、木材、油脂、機械、マッチ、プレスなど二六〇数社にのぼる中小企業工場や倉庫が林立し、その狭い間に零細工場、商店、長屋、アパート、パラック等が混然とひしめき合っており、従って工場の煤煙、騒音、悪臭、自動車の排気ガス、振動、騒音、運河、湊川の悪臭等「公害デパート」と化していた。

そこで、住民がやむにやまれず四十一年末、住民大会を開催してこれらの追放運動に立上ったもので、それから現在まで十数年間引続き数々の陳情、要望、町づくり運動をくり返して来た。公害対策(主婦の集団による公害工場の実

態調査、鉛公害住民検診、苅藻喘息症調査、大気汚染調査、運河の公害バトロール、製油工場と公害防止協定申入れ、調印等々)チビッ子広場づくり、緑の歩道づくり、寝たきり老人入浴サービス、各種都市問題シンポジューム参加幹線道路のサツマイモ苗植え、地域の歴史の掘り起こし運動等々、数えればきりがないものである。また住民はただ反対運動で告発するだけなく、どのようにすれば人間らしい生活環境の町づくりが出来るかを考え、地区計画制度を含めた町づくり学校を開講して勉強中である。このようにユニットな町づくりを実践してきた当協議会に対し地域活動賞を送ることを委員会で決定した。(今井仙三)

● 選考経過

第5回目の賞に当たり、今回より選考委員に加わっていた長島氏より、「地域活動というからには、今までに今井仙三氏の丸山地区や毛利芳藏氏の苅藻地区など横綱格のものが受賞していないことに疑問を感じる。この賞が権威あるものであるならば、もう一度考え方としてはどうか」という賞に対する基本的な考え方の検討案が出た。両者は全国水準を飛び抜けた先駆性と数多くの業績がある。毎回候補にあげられる「明舞団地のスポーツ協会」や「大屋町の町づくり」も話題になった。

東浦中学と東浦公民館が一体となつて地域の教育に励む、「東浦コミュニティスクール」も全国に先かけた活動として注目される。板宿の繁華街を中心とした街並みづくりも将来に大きな期待が寄せられている。尼崎市の園田学園は三年前から地域住民へ運動場やテニスコートを解放し、公開講座も開いている。とかく閉鎖的な学園が多い中で積極的に住民とのつながりを作りあげている。

小誌「月刊神戸っ子」も二十年間に渡るタウン誌活動と付随した各行事に對して候補にあがつた。結局昭和四十一年から一貫した姿勢で街ぐるみの活動を続けてきた苅藻の尻池南部自治会に決定。

第5回井植文化賞報道出版部門

足で書いた兵庫のすべて “兵庫探検”取材班

選考委員

豊〈ラジオ関西代表取締役〉

信宏〈NHK神戸放送局長〉

晴雄〈神戸新聞社主筆〉

阪上
滝川
長島



“兵庫探検”取材班

兵庫探検は長期連載企画として昭和四十五年正月からスタートし、五十六年五月まで、足掛け十二年間にわたって神戸新聞朝刊に連載された。民俗編に始まり、自然編、歴史風土編、続歴史風土編、近・現代編、総集編の六テーマに分けられている。壇上重光（現神戸新聞編集局長）をデスクとする兵庫探検取材班が取材執筆に当たった。

連載が終わつたあと各編ごとに一冊にまとめ、それぞれ神戸新聞社、あるいは神戸新聞出版センターから出版されている。最後の総集編も連載が終わつたので近く出版される予定である。

何しろ足掛け十二年間にわたる長期連載企画というのは、ちょっと他紙にも例がないだろう。それ

にこれは新聞社でなくてはできない仕事である。

いうのも、まず新聞社の持つ機動力を發揮して、徹底的に現地取材をするという現場主義をとっている。つまり足で書いたものだ。それにいろんな学問分野の新しい発見や研究成果を、自由自在に取り入れている。学者が論文を発表するとなると、なかなかこうはいかない。「新聞はうらやましい」と言う学者の声もあった。

この企画のねらいは、兵庫県といふ地域社会を、さまざまな分野から解明し、全国の中でどんな独自の性格を持ち、どんな位置を占めるかを明らかにしようとしたものと言えよう。県民の立場から言えば「自己を知るためのもの」だ。

とにかくこれを読めば兵庫県に“強くなる”ことは間違いない。

そのうえ兵庫県という県域が、日本海から太平洋まで実に多様な複合県だ。つまり日本にあるものはたいがい兵庫県のどこにあると言つてよいほど、日本の縮図的な県だ。また江戸時代の十九藩の小藩を寄せ集めて人為的に作られた県だから、歴史や伝統、民俗も多様である。それが兵庫探検のおもしろさもあるし、これを通じて日本への理解を深める手がかりにもなるだろう。

これを読んでいると、県内をしても話題が豊富になり、樂しみがふえる。たとえば宍粟郡山崎町から安富町、夢前町、福崎町へ抜ける真っすぐな谷を見ると、これが地質等で有名な山崎断層で、弥生時代には東西の大幹線だつたらしいとか、丹波の石生を通ると、ここに日本海と太平洋側に分かれ、全国でもっとも低い分水界があるところだとか。

十二年の間には世の中も変わった。最初の民俗編などの中には、いまでは消滅してしまった年中行事もある。貴重な記録になつたわけだ。とてもこれで兵庫県のすべてが解明されたわけではないし、試行錯誤の連続かもしれない。しかし兵庫県理解には必読のものではあるだろう。

△長島晴雄

●選考経過

いきなり候補にあがつたのが神戸新聞社の「兵庫探検」と、NHK神戸放送局の「兵庫史を歩く」の二本。

第5回井植文化賞報道出版部門

視聴者参加で史跡を探る
“兵庫史を歩く”

選考委員
豊(ラジオ関西代表取締役)
信宏(NHK神戸放送局長)
晴雄(神戸新聞社主筆)



西宮・甲山古道をゆく(53.5.3)

昭和49年9月29日、兵庫県上郡町に集まつた三百人は、作家杜山

戸放送局のローカル番組「兵庫史を歩く」は、こうして始まつた。

埋もれた歴史の道をみんなで歩き、ふるさとの史跡と自然の美しさを探ろう」と以後毎月一回(夏冬を除く)実施して、今年2月布引の滝から大童寺まで歩いてついに40回。これを記念して単行本「兵庫史を歩く」も出版されたがこれまでの参加者は九千人をこえ北は香住町余部から南は洲本市先山まで、県内をくまなく歩いた。

毎回15分のこの番組は、小型ではあるが、視聴者が直接番組づくりに参加したこと、P.D.アナ・

カメラマン・技術のスタッフのはかに参加者対応で庶務・営業の職員も加わり全局一体となつて作つたこと、毎回講師から史跡など歴史の説明を受け生涯教育の役割を果したこと、毎回10キロ前後を歩き体力づくりにも役立つこと、などいくつかの面で特色を持ち、今後の番組制作のあり方に一石を投じた。その後、この番組にヒントを得て歴史散歩などの類似のものが各地で見られるようになつたのが、この番組のユニーク性を物語るなりによりの証拠である。

NHK神戸放送局の「兵庫史を歩く」は、視聴者とともに郷土を歩いて兵庫の史跡を探る番組で、過去40回の参加者は延べ九千人を超えた。杜山悠氏らの講師から史跡、歴史などの説明を受け、体力づくりも兼ねた生涯教育として参加者も増え続けている状況からも

最終的にはこの二本ともが受賞となり、選考会もこの二本に関しての議論に集中し、他の候補は入った余地もなかった。両者ともが三人の選考委員に“異議なし”的作品と認められた。

経済ポケット ジャーナル



「地方の時代」に開かれた瀬戸内海地域商工会議所懇談会

魅力ある街づくりと
地域産業の振興をテーマ
第14回瀬戸内海地域商工会議所懇談会が、瀬戸内海に面した諸都市の商工会議所が集まって西日本の総合開発と経済交流を進めようというねらいの

「瀬戸内海地域商工会議所懇談会」の第14回会合が去る6月29日、神戸国際会議場で開かれた。

今回のテーマは「魅力ある街づくり」と地域産業の振興で、竜野、西宮、姫路など11の会議所からそれぞれの事例を紹介。魅力ある街づくりは地域住民や行政と協力して地域の特性に応じて行うこと、伝統産業や

特産品の積極育成、異業種間の技術や経営のノウハウ交流を進めるなどと申し合わせた。

★会長に坂野惇子氏就任

ファッショニエ界で指導的な役割を果しているプロフェッショナルな女性の団体として、ニューヨークに団体

一九二八年生まれた社团法人ザ・ファッショングループ。世界主要七カ国に団体



坂野惇子会長



による「自動車を見る海外マーケティング戦略」という講演があった。東勢ハウス(☎ 03-4958-1101-23)本部(東京都港区元麻布3-10-23)浜野安宏氏の講演とトヨタ自動車販売株の国枝金司氏

イティ」と題して神戸ではポートピアでも馳染みの

「ファッショングラフ

ティ」と題して神戸ではポートピアでも馳染みの

「ファッショングラフ

ティ」と題して神戸では

ポートピアでも馳染みの

「ファッショングラフ

THE ARIMA SPA
IN AUG.

湯の街

有馬歳時記

思召し候へどもけに上申度候はば、な
大こん、こぼう、又もちなどのやうなる
手づくりのたぐみはぬし次第に可進上由
被仰出候也

文禄三年十二月八日 木下大膳在判

また、天正十八年頃、眼病に患つてい
た淀君に、温泉入湯をすすめる次の文
が残っている。

「かへす／＼目は大ぢの事で候間其ため
にゆへいれ申われ／＼いい候はて一人い
れ候事がはじめにいかほとくいれ候
事めいわくにて候へともそもしせんめ
わつらい候てはと存候てゆへめいわくな
からいれやいとなどしてはよく候はんや

NHKの大河ドラマ「おんな太閤記」
でおなじみの秀吉は、有馬温泉にとって
大恩人とも言うべき人物である。
享禄元年（一五二八）と天正四年（一
五七六）の二度にわたって、有馬温泉は
大火災に遭い、有馬の町はほとんど潰滅
に近いほどの打撃を受けてしまった。
それを修復したのが秀吉なのである。

天正十三年（一五八五）のこと、この
とき北の政所（ねね）も薬師堂建立のた
め銀一千五百貫文と地領百石とを寄進し
ている。これにより有馬温泉は、再び往
時の繁栄を取り戻した。

秀吉は、天正十一年（一五八三）から
文禄三年（一五九四）までの十一年間に
北の政所をともない、前後九回にわたつ
て湯治に来ている。

文禄三年の入湯時には、下知状として
次の二文が残されている。

「太閤様御湯治之時、當所地下人酒さか
な以下なにてもかひ候ひて進上申事か
たく御停止なされ候、其外の物も無用と



有馬にある秀吉の墓

こうして往時の繁栄を取り戻した有馬
ではあったが、慶長元年（一五九六）七
月十二日夜半、今度は大地震に見舞われ
湯屋、民家ともに潰滅し、温泉は熱湯と
化し、入浴が不可能となつた。

そこで秀吉は直ちに復旧工事を命じ、

敷地内から湧きでる
日本最古の温泉“有馬温泉”

阪急ホテルチェーン

有馬ビューホテル

TEL (078) 904-2295代

温泉と演芸と遊技場

有馬ヘルスセンター

TEL (078) 904-2291

雅ただようくつろぎの館

中の坊瑞苑

TEL (078) 904-0781

会議セミナーから御家族づれまで

有馬グランドホテル

TEL (078) 904-0181

新館堂々オープン

兵衛

向陽閣

景勝高台の近代旅館

TEL (078) 904-0501代

湯の香漂う
緑の中の優雅な佇まい

木造りの宿

御所坊

TEL (078) 904-0551

湯屋の改築とともに、泉源の改修工事を行つた。この工事は慶長二年六月より始まり、同三年三月五日に完成した。

同日、秀吉は光徳山善福寺にて次の狂

歌二首を詠んでいた。

○つもりきて今こそまいるごくらくへ

只一すぢにみだのじやうどへ

○あくねんはからにそへ捨おみて

こころは弥陀のじやうどへゆく

秀吉は、また、有馬で茶会を開いた。

天正十八年、阿彌陀堂において催され

たときの目録が残っている。

「天正十八年十月四日於有馬御茶湯次第

事阿彌陀堂にて御茶湯座敷二疊敷

一長そりりくたにいとほし床の柱にかけ

一御床きたらのほくせきかけて

一長そりりくたにいとほし床の柱にかけ

させられ花入菊の花一つ入

一つたうりた 五徳すべ

優雅にゆとりのひととき

中の坊瑞苑

中の坊の創業は明治元

年。現在の代表取締役の

梶木雅夫さんは五代目に

なる。昨年十月、本館の

新築オーブンを機に、中

の坊瑞苑と名を改めた。

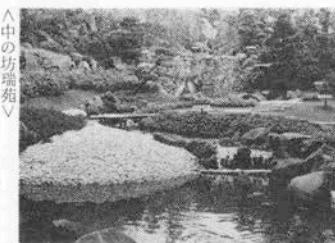
瑞苑は、何よりも優雅

さと寛ろぎとを大切にす

る。「お客様に落ち着いてゆつたりとしていた

だくため、各部屋の空間に遊びをもたらせました。

● 有馬の宿



△中の坊瑞苑

自然の恵みを
湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館

古泉閣

TEL (078) 904-0731

旅は出会い
ほのぼの心を添えて

政府登録(登旅第78号)

● 月光園

神戸市北区有馬町318
TEL (078) 904-0366

有馬の歴史を語り続ける「いで湯の宿」

銀水荘

別館 樂山

TEL (078) 904-0622

別館 光楽

TEL (078) 904-3656

欽山は典雅な
日本風の館です

国際観光旅館

欽山

TEL (078) 904-0701代

一しきかたつき御てう水の間にたなに茶
はんかたつきおきあはせられ候なり
一一どちやはんをいため
一茶しやくあぶら竹利休作
一水指びせん物 水こぼし作のめんつう
ふたおきさひむしくひ
一志賀の心壺をかつてのうちに金ひやう
ふをひかせられおきあはせられ候
一御かけゑかんさん十徳

客来 一番 利休小早川有馬法師
二番 善福寺阿彌陀堂池坊
三番 志摩守宗行かもん

現在も毎年十一月の初め、ひぐらしの
庭と言われ、紅葉が素晴らしい瑞宝寺跡公
園で、有馬温泉の大恩人、豊臣秀吉を偲
んで大茶会が催されているのである。
△参考／山藤延吉著「有馬群誌」
△金田宗太郎著「神戸の歴史研究」(上)

△中の坊瑞苑
△神戸市北区有馬町八〇八
△電話(078)九〇四一〇七八
△八有馬グランドホテル
△神戸市北区有馬町一三〇四一
△電話(078)九〇四一〇七八一